

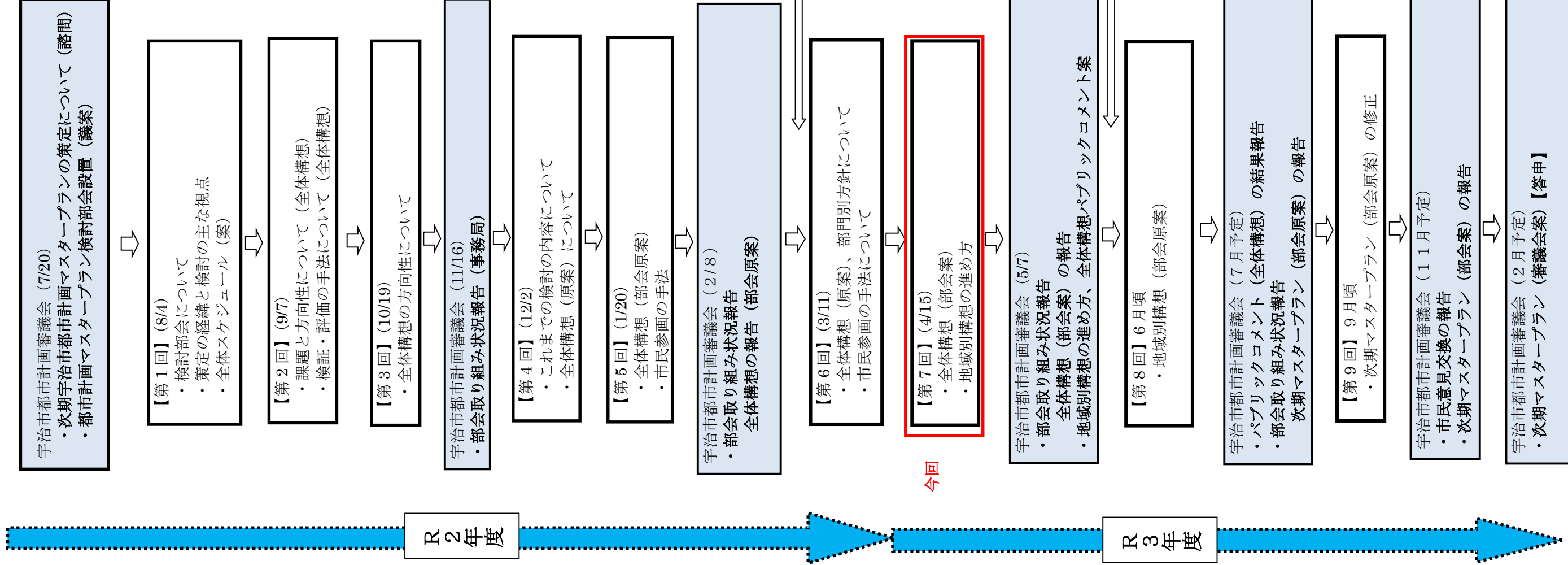
第 6 回宇治市都市計画マスタープラン  
検討部会のご意見について

第6回検討部会の部門別方針における主な意見		整理内容	資料2
1	今までと違うところが分かりやすいと良い。今回の目玉が伝わるような整理	”都市づくりの基本目標と部門別方針の関係”についてフロー図にし整理	p1～p6
2	伸ばす項目、トーンダウンする項目、新たな視点など、3つぐらいのグループで整理	新しい視点を入れたもの「新規」、内容を拡充したものを「拡充」として整理	p1～p6
3	部門別方針の一つ一つのセンテンスが長く説明的なものがある。キャッチフレーズの言葉のほうが市民の方に分かりやすい。(例えば、公園・緑地の「花とみどりの親しみを通じて、人の交流を広げるふれあいの場をつくり出す」や、都市防災の「自然的環境や景観を考慮した治水対策を推進し、みんなが親しめる河川空間をつくり出す」など)	「花とみどりの親しみを通じて、人の交流を広げるふれあいの場をつくり出す」を「人の交流を広げるふれあいの場をつくり出す」に修正(短くて分かりやすいキャッチフレーズに)	p15
4	市民の皆さんが話し合うときのための価値判断まで書けるのか。	都市計画マスタープランは、まちづくりの基本的な方向性であり、地域レベルのまちづくりは、基本的な方向性を踏まえ、上で、「地区計画などを利用して行うこととなる」等で整理	p9など
5	都市計画として、示している方向性は明確に書いて、地域によって判断を任せるところについては、「地域特性に応じた」や「多様なニーズに対応する」と書いたほうが分かりやすい。		
6	p4の(1)住宅地の「多様な住まい方」に対応した質の高い住宅地の誘導の「ライフスタイルに合わせた生活利便施設の整った快適な住宅地やまちなみを大切に戸建て住宅地の誘導に努めます」の中で「戸建て」に限定する必要はないのでは。	戸建てを削除し、「まちなみを大切に住宅地の誘導に努めます」に修正。その上で、地域レベルのまちづくりは地域に判断を任せる。	p9
7	p4の(2)商業・業務地の3項目目の内容で「生活利便施設の回遊性の向上を図る」と書かれているが、分かりにくい。分かりやすい表現に修正。	「人々が行き交う歩行者空間の充実を図るなど、今後商業施設など生活利便施設を回遊できるまちづくりに努め」に修正	p9
8	p5の(3)工業地に関しては、「活気に満ちた工業地の整備・充実を進めます」の整備と「活力ある都市をめざすため新たな産業立地を検討します」が重複している。分かりやすい表現に整理。	既存の工業地の振興と整備に分け整理	p10
9	p5の(5)森林・緑地等の一番下、「各種法令等を活用し豊かな自然の保全に努めます」は、法令を活用するのは当然なので、進めている取り組みなど直接的な表現に修正。	「(仮称)太陽光発電設備の設置に関する条例策定などにより」に修正	p10
10	身近な視点から大きな視点へという視点で書いてあるが、大きな視点から身近な視点に記載がよい。P8の公共交通機関は、1つ目に「パートナーシップによる調和のとれた持続可能な交通体系をめざします」、2つ目に「公共交通を中心としたまちづくりを進めます」の順、道路は、「社会情勢の変化に対応した道路網づくりに努めます」を1番最初に整理した方が分かりやすい。	大きな視点から身近な視点の順に整理	p11 p13
11	一番大きく変わっているのは「多様な住まい方・働き方を支える都市づくり」になってるところが目標としては大きく変わっている。その目標と最も関わりが深いのがp12の「都市環境」なので、「身近にある自然が感じられる都市環境をめざします」の中に「生活環境の維持」のような文言があると分かりやすい。	都市環境の基本方針について見直し、「地域特性に応じた良好な都市環境をめざします」で整理	p17

# 全体スケジュール (案)

都市計画審議会

宇治市



## 市民参画の手法について

